

「道徳的諸価値についての理解」

を重点とした道徳科の授業づくり

第2学年 道徳科学習指導案

- 1 主題名「友達の立場になって」（内容項目：B-9 友情、信頼）
- 2 教材名「およげないりすさん」（出典「小学道徳2 はばたこう明日へ」教育出版）
- 3 主題設定の理由

友達は家族以外で特に関わりをもつ存在であり、友達関係は共に学んだり遊んだりすることを通して、互いに影響し合って構築されるものである。低学年の段階では、友達の立場を理解したり自分と異なる考えを受け入れたりすることが難しい場合もあるが、学級での生活を共にしながら一緒に勉強したり、仲よく遊んだり、困っている友達のことを心配し助け合ったりする経験を重ねることで、友達のよさを強く感じるようになる。そのため、友達と一緒に活動して楽しかったことや友達と助け合ってよかったことを考えさせながら、友達と仲よく助け合う大切さを育てていく必要がある。

そのために、本時に至るまで次のような指導をしてきた。生活科においては、友達と共に野菜を栽培したり町探検を行ったりすることを通して、協力して活動することの大切さを学んだ。また、図画工作科や音楽科の表現活動を通して、友達とお互いの表現の良さに気づき、共に学ぶ楽しさを感じる経験をしている。体育科においては、体づくり運動やゲームを通して、友達と力を合わせながら活動することができた。学級活動・学校行事においては、友達と話し合いながら協働して活動する経験を積んできた。道徳科においては、友達と一緒に活動して楽しかったことや仲直りをした経験をもとに、友達と仲よくする大切さを話し合いの中で学んできている。その結果、日常生活の中で、友達と仲よく遊んだり学習したりする姿が増えてきた。また、友達のことを手伝ったり、心配して声をかけたりしている姿も見られている。しかし、友達の苦手なことや困っていることに寄り添うよりも、悪気なく自分の気持ちを優先してしまう姿も見られる。つまり、お互い仲よく過ごせることもあるが、友達のことを考えて助け合う関係にまでは至っていない実態にある。

本教材は、あひる・かめ・白鳥が、池の中の島へ行って遊ぶ相談をしている場面から始まる。そこに、りすが一緒に行きたいとやってくるが、泳げないという理由で置いていってしまう。その後、りすがいないまま遊んでいても楽しくなかった3匹は、島から戻ってりすに謝り、かめの背中にりすを乗せて4匹で島へ遊びに行くという話である。本教材のような場面は、児童の生活の中でも起こりうることであり、自分たちの友達関係に重ねて考えることができる。友達に悲しい思いをさせて自分たちだけ遊んでいても楽しくないことに気づき、りすの立場や気持ちになって行動する動物たちの姿を通して、友達と仲よくし助け合うことの大切さについて考えることができる。そこで本時では、りすのために島から戻ってきた動物たちの行動や気持ちを考えることを通して、

友達のことを考え、仲よくし、助け合おうとする道徳的心情を育てたい。

4 本時のねらい

りすのために島から戻ってきた動物たちの行動や気持ちを考えることを通して、友達のことを考え、仲よくし、助け合おうとする道徳的心情を育てる。

5 本授業のポイント

- ① 道徳的諸価値の理解である価値理解・人間理解・他者理解を図るとともに自己理解を深める活動を設定している。
- ② 中心発問の場面では、児童の価値理解を深めるための問い返しの発問を児童の反応・発言を想定しながら設定している。

6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童生徒の発言	留意点や評価の観点 等
導入	<p>1 事前アンケートの結果から友達とのこれまでの関係について想起する。</p> <p>○友達として楽しい気持ちになることはありますか。また、それはどんな時ですか。</p>	<p>・事前アンケートの結果を提示し、友達との関係を想起させることで、価値への方向付けを図る。</p>
展開	<p>2 教材「およげないりすさん」を読んで話し合う。</p> <p>○このお話の中で楽しいと思っているのは誰かな。反対に楽しくないと思っている人はいるかな。</p> <p>○りすさんに頼まれたとき、3人はどんなことを考えていただろう。</p> <p>・りすさんがいるといけなくなるからいや。仕方がない。</p> <p>・ごめんね。泳げないから連れて行ってあげられない。</p> <p>○りすさんは、独りぼっちでどんなことを考えていただろう。</p> <p>・友達だと思っていたのに。みんなと一緒にいきたい。</p> <p>・泳げないぼくが悪いのかな。悲しいな。</p> <p>◎あひる・かめ・白鳥の3人は、どうして島からもどってきたのかな。</p> <p>・りすさんがかわいそうだったから。</p> <p>・りすさんがいないと楽しくなかったから。</p> <p>《問い返し》</p> <p>○りすさんがいないと、どうして楽しくないのかな。</p> <p>・たくさんいる方が楽しいから。</p> <p>・悲しい思いをしている人がいると、本当に楽しむことはできないから。</p>	<p>・導入と教材をつなぐことで、思考を焦点化する。</p> <p>・悪気なくりすを独りぼっちにさせてしまうあひる・かめ・白鳥の気持ちを考えることで人間理解を図る。</p> <p>・独りぼっちになったりすの気持ちも考えることで、双方の立場からに価値について考える。</p> <p>・あひる・かめ・白鳥の3人が島から戻ってきた理由を考えることで、価値理解と他者理解を図る。</p> <p>・問い返しにより、友達の立場や気持ちになって考える視点をもてるようにする。</p> <p>●自分だけではなく、友達のことを考えて行動するよさや大</p>

	<p>3 これまでの自分について考える。</p> <p>○りすさんみたいに困っていたり悲しんだりしていた時に、助けてくれた友達はいですか。その時、どんな気持ちになりましたか。</p> <p>○反対に、困っている友達を助けてあげたことはありますか。その時、どんな気持ちになりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○さんに勉強でわからない所を教えてもらって嬉しかった。 ・○○さんに遊びに誘ってもらえて一緒に楽しい気持ちになれた。 ・○○さんが泣いている時に助けてあげた。元気になってこっちも嬉しくなった。 	<p>切さを考えている(発言・ワークシート)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材を通して学んだことを踏まえこれまでの自分について考えることで自己理解や生き方を深める。 ・ロイロノートやジャムボードなどの共有ソフトを活用することで、お互いの考えを交流しながらこれまでの自分について考えられるようにする。 ●これまでの自分を振り返り、友達のことを考え、友達と仲よくし、助け合うことのよさや大切さを考えている(発言・ワークシート)。
<p>終末</p>	<p>4 学んだことを振り返る。</p> <p>○この時間で学んだことや考えたことをワークシートに振り返りましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返ることで考えの深まりを自覚する。